



# 小児がんのQOLについて考える in 大阪

「かあさん、家にかえりたい。」

わずか2坪の空間。置き場所のないおもちゃや生活用品。  
現在、小児がんの子どもたちは、この狭い空間で  
半年以上にわたって病と闘いながら、遊び、学び、  
そして心身ともに成長していかなければなりません



【現在の病室の様子】

関西の小児がん・小児医療に関係するNPO団体など4団体をはじめ、行政、医療、患児家族などの様々な立場の方々をパネリストにお迎えし、それぞれの立場のことをお互いに理解することによって、より良い小児がん治療とは何かを考えます。ぜひあなたのご意見を！

日時

2010年 2月21日(日) 13:00～16:00  
(12:30開場)

参加  
無料

場所

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター 講堂**  
大阪市中央区法門坂 2-1-14 (大阪市営地下鉄 谷町4丁目駅 11番出口すぐ)

申込み

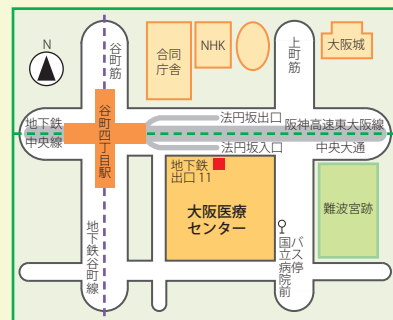
チャイルド・ケモ・ハウス事務局

メール: [info@kemohouse.jp](mailto:info@kemohouse.jp)

Fax: 072-646-7073

氏名・連絡先(メールアドレス等)・参加人数をお知らせください。

お問合わせ: 080-6148-1108



◎主催: NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス

◎助成: 社団法人 大阪薬業クラブ 平成21年度公益(助成)事業

## 【プログラム】

### ◇第一部 シンポジウム 活動報告

(13:00～14:30)

一出演団体一

財団法人 がんの子供を守る会 関西支部

NPO法人 日本クリニクラウン協会

NPO法人 こども盆栽

NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス

(出演団体については裏面をご覧ください。)

### ◇第二部 パネルディスカッション それぞれの立場から

(14:45～15:30)

河 敬世 氏 [地方独立行政法人 大阪府立病院機構]

大阪府立母子保健総合医療センター 院長]

多和 昭雄 氏 [独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 小児科科長]

村田 庄司 氏 [独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 事務部長]

松下 彰宏 氏 [大阪府保険医療室健康づくり課 課長]

楠木 重範 氏 [NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス 理事長 /  
独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 小児科医師]

谷口 友希子 氏 [患児家族]

村田 由美子 氏 [社会福祉法人 伊丹市社会福祉事業団]

伊丹市訪問看護ステーション 管理者 看護師 \*]

コーディネーター

田村 太郎 氏 [ダイバーシティ研究所 代表 \*]

### ◇第三部 フロアディスカッション

(15:45～16:00)

～がんになっても笑顔で育つために～

# 小児がんのQOLについて考える in 大阪

参加  
無料

## シンポジウム参加団体



### 財団法人 がんの子供を守る会 (ソーシャルワーカー 樋口 明子 氏)

財団法人 がんの子供を守る会は1968年(昭和43年)に小児がんで子どもを亡くした親たちによって設立されました。

現在小児がん患者家族を中心に医療関係者や多くの方々の参加と支援の下に、一日も早い小児がんの征圧と患者と家族のクオリティ オブ ライフの向上をまざして活動を行っています。



[homepage3.nifty.com/mamorukai-kansai](http://homepage3.nifty.com/mamorukai-kansai)



### NPO法人 日本クリニックラウン協会 (事務局長 塚原 成幸 氏)

日本クリニックラウン協会は、闘病生活を送る子どもの権利を尊重し、入院している子どものもとへクリニックラウンの温かい笑顔と心のこもったふれあいを届けることを目的として2005年に発足しました。現在は年間約200回病院訪問を実施し、7000名の子どもと関わっています。活動の目的は、人間味あふれる笑顔やコミュニケーションを通して、人とのかわりを深め、生きることへの動機付けを高めることにあります。活動の主演は常に子どもであり、子ども自身の自主性や能動性を向上させることがクリニックラウンの使命です。



[www.clinicclowns.jp](http://www.clinicclowns.jp)



### NPO法人 こども盆栽 (事務局 松浦 智子 氏)

NPO法人 こども盆栽は、子ども達の創造性や自主性を育むべく、大阪府内の小・中・高校生年間約5000名にキャリア教育の授業を行っています。この春からは、通信制高校の運営も始めます。

また、プライベートでは現在1児の母。昨年11月に、長男が水頭症で大阪医療センターに入院、手術。入院中に、絵本読みのボランティアの方に非常に助けられたことにより「入院中の子どもの遊び」の必要性を実感。現在、大阪府内の病院で「遊びのボランティア組織」を立ち上げるべく奮闘中です。



[www.bombsight.net](http://www.bombsight.net)



### NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス (理事長 楠木 重範 氏)

NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウスでは「がんになっても笑顔で育つ!」をスローガンに自分の家のような環境で安心して治療を進めることができるように、治療中の子どもとその家族のQOL(Quality Of Life - 生活の質)に配慮した日本で初めての小児がん専門病院の設立を目指し、活動しています。また、小児がんに関する知識や現状の理解を広く啓発する目的で、年に一回のイベントも開催しています。



[www.kemohouse.jp](http://www.kemohouse.jp)

第3回 チャイルド・ケモ・ハウスシンポジウム

2010年 2月21日(日) 13:00～16:00

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 講堂